

常盤の翠

志・寛・練

発行
令和5年3月23日
鹿児島市立伊敷中学校

教育はどこへ向かうのか

校長 河瀬 雅之

先週三年生二百四十六人が本校を巣立っていった。その後を追うように私自身もあと一週間の職生活を送ることに。

私が新採教員として、吉野中学校に赴任したのは昭和六十一年の春であった。初めは自分が中立的な卒業生として、十年も経たない頃には、教育現場の雰囲気も大きく変わっていった。教師中心の学校から、生徒中心の学校へと変わっていき、感じられた変化であった。その中で、低年齢化、個性の欠如が進んでいることも、同時に感じた。世の中はテクノロジーの発達により、変化が激しく、子供たちの生活環境も大きく変わってきた。家庭訪問をしても、子供がゲームばかりしているという相談が、たくさん寄せられた。

それから三十七年。教育現場はどう変わったのだろうか。「学習内容が減った」という名のもと、授業の質が低下しているという声も聞かれました。また、デジタル化が進む中で、子供たちの生活環境も大きく変わってきた。家庭訪問をしても、子供がゲームばかりしているという相談が、たくさん寄せられた。

組んでいたため、全国各地から毎週のようには、実践を学べる学校であった。しかし、活気あふれる学校であった。学校間格差も指摘されるようになった。

二日ほどその頃、学校にも週休二日制が導入されるようになった。OECDの学習到達度調査（PISA）や、国際数学・理科教育動向調査（TIMSS）など、日本の学力調査結果が問題視されるようになり、次第に教育の方向は「脱ゆとり」に舵切られることになった。

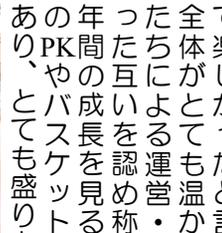
二十世紀後半に教育にコンピュータが導入されたのも、大きな変化であった。授業スタイルが激変した。子供たちは端末を自在に使い、情報が収集しやすくなった。共有する内容もデジタルに映し出され、授業の質も向上した。しかし、デジタル化が進む中で、子供たちの生活環境も大きく変わってきた。

こうやって私の生活は少なからず変わってきた。私の生活は少なからず変わってきた。私の生活は少なからず変わってきた。私の生活は少なからず変わってきた。

熱く燃えたクラスマッチ



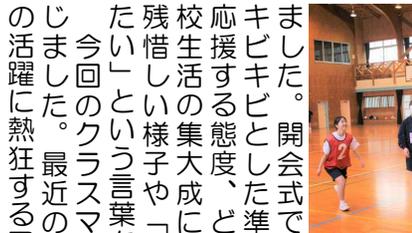
今年度の締めくくりとして、各学年でクラスマッチが行われました。伊敷中のクラスマッチは、体育班を中心に準備が進められ、生徒たちが自ら企画・運営・進行を行う行事となっています。種目は、サッカー、バレーボール、バスケットボールの三つに分かれ、一人一種目に出場し、スポーツを通して、学級・学年の親交を深めるものとなっています。



2年生は、天気が心配されましたが、なんとか実施することができました。昨年よりも自分たちでやるぞという意識が高くなり、どの会場でも自主的に動く姿が見られました。試合中に声を張り上げて仲間を応援する姿や、試合終了後に互いの健闘を称え合う姿を通して、学級や学年の親睦が更に図られたのだと感じました。



3年生は、公立入試が終わり、学級が一丸となって行う最後の行事となりました。開会式でのユーモアあふれる選手宣誓に始まり、キビキビとした準備体操、スムーズな運営・進行、精一杯応援する態度、どれをとってもさすが3年生、そして中学校生活の集大成にふさわしい内容でした。終わった後の名残惜しい様子や「またこのメンバーでクラスマッチをやりたい」という言葉を聞いて胸が熱くなりました。



このクラスマッチを通して、たくさんこのエネルギーをもらいました。また、このように、生徒たちが自ら考え、企画・運営・進行するようない事は、日々の授業だけでは身に付かない力を養うために、とても有効です。一つの目標に向かって、周囲と協力したり、考えを共有したりして、集団を動かすような力は、学校生活だけでなく、様々な場面でも生きていく力となります。どの学年も最高の思い出ができました。

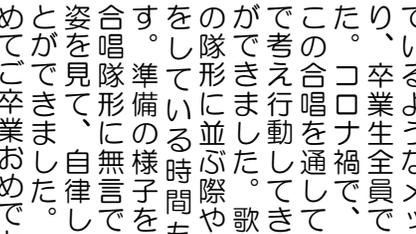


このクラスマッチを通して、たくさんこのエネルギーをもらいました。また、このように、生徒たちが自ら考え、企画・運営・進行するようない事は、日々の授業だけでは身に付かない力を養うために、とても有効です。一つの目標に向かって、周囲と協力したり、考えを共有したりして、集団を動かすような力は、学校生活だけでなく、様々な場面でも生きていく力となります。どの学年も最高の思い出ができました。

卒業式〜旅たちの日〜



3月14日（火）に第七十六回卒業式が実施されました。厳かな中に感動があり、温かい雰囲気の中で、式が進行していき、各学級の代表者が堂々とした姿で卒業証書を受け取りました。送る言葉では、現生徒会長の酒匂さん、在校生代表として送辞を行い、それに対して、前生徒会長の田代紅愛さんが答辞を行いました。どちらも感動的な内容と共に、お互いにエールを送っているようなメッセージが随所にありました。式が終わった。コロナ禍で、様々な制限のあった黄学年でしたが、この合唱を通して、これまで自分たちで考え行動してきた成果を感じる事ができました。歌もそうですが、合唱の隊形に並ぶ際や在校生が合唱の準備をしている時間も素晴らしいと感じました。準備の様子をしっかりと見守ったり、合唱隊形に無言で移動したりしている姿を見て、自律した学年だと感じることができました。卒業生の皆さん、改めてご卒業おめでとうございます。



今回をもちまして、私が執筆する学校だよりも最終号となります。子供たちの生活の様子も書き進めてきました。子供たちの生活の様子も書き進めてきました。子供たちの生活の様子も書き進めてきました。子供たちの生活の様子も書き進めてきました。

伊敷中学校 河瀬 雅之

主な行事予定

- 4月
 - 6日（木）始業式 第77回入学式
 - 7日（金）標準学力検査（1・2年）
 - 8日（土）標準学力検査、知能検査（1年）
身体測定（2年）
避難訓練
 - 10日（月）部活動紹介式
身体測定（1・3年）
 - 11日（火）授業参観 PTA（全学年）
部活動中止
 - 12日（水）交通安全教室（全学年）
検尿（1次）～13日、19日
学習適応授業
 - 17日（月）全国学力・学習状況調査（3年）
部活動発会式
 - 20日（木）歯科検診（3年全員、2年1～3組）
 - 21日（金）一日遠足
 - 26日（水）内科検診（3年）
 - 27日（木）歯科検診（1年全員、2年4～6組）
 - 28日（金）授業参観 PTA総会
- ※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、行事内容や保護者の参観方法等を変更する場合があります。

